

2024年度 瀬戸内海地域振興助成 公募プログラムのご案内

瀬戸内海の文化を引継ぎ、地域を元気にする活動を応援します。

応募受付期間：2023年9月1日(金)～30日(土)

ごあいさつ

2023年1月に新たに理事長に就任いたしました、福武英明です。福武總一郎前理事長が提唱していた“在るものを活かし、無いものを創る”を信条に、人々が「よく生きる」地域をつくることを継承するとともに、より私たちの活動を力強く実践し、広く世界に発信してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年4月より105日間にわたって開催された『瀬戸内国際芸術祭2022』は、コロナ禍での芸術祭となりました。訪れる人の数は前回2019年の6割程度にとどまりましたが、その分来られたお一人おひとりに、より深い体験をしていただけたのではないかと思います。アンケートからも、訪れた人の満足度や次回に向けての期待度は、前回に比べて大幅に高まっています。

特に、秋会期の10月には、直島を中心に『SETOUCHI企業フォーラム』が行われ、文化と経済の関係、企業と地域の関係について深く考え、議論していただく機会となりました。また、同じ時期に、大地の芸術祭と連携して、『瀬戸内アジアフォーラム』も開催され、世界中の25人のアーティスト・有識者から、コロナ禍におけるアートの役割について、熱いメッセージが発信されました。

この約3年近く、新型コロナウイルス感染症により、社会も地域も大変閉塞感の強い状態が続いてきました。こうした状況だからこそ、アートの力により、人の行き来、人と人との交流を取り戻し、みんなと一緒に語らい、感動し、自分自身を見つめ直す。そのようなアートや文化が本来持っている力を活かし、各島の島民の方々との交流、さらには、フォーラムなどの各イベントを通して、これからも広く発信していきたい所存です。

新型コロナウイルス感染症もようやく終息の兆しが見え、いよいよ地域振興活動も様々な地域で、多彩な手法で再始動しているように感じます。各地域で活躍している皆さまに当財団の助成事業に関心を持っていただき、また実際に助成を受けていただくことによって、各地の力が結集し、新たな創造や知恵が生み出されることを期待しています。

2023 年 6 月吉日



公益財団法人 福武財団
理事長

福武 英明

1 公益財団法人 福武財団について

公益財団法人 福武財団は、2004年に、地中美術館開館を機に設立された「直島福武美術館財団」を前身としています。2012年10月、基本理念を同じくしながら、それまで独自に活動が続けてきた「福武学術文化振興財団」と「文化・芸術による福武地域振興財団」を吸収合併し、新たに「公益財団法人 福武財団」を設立しました。

福武財団は、日本の近代化の流れの中で行われてきた破壊と創造の繰り返しを見直し、「在るものを活かし、無いものを創る」を信条に、人々がよりよく生きる地域をつくること、お年寄りの笑顔が素晴らしい地域をつくることを目指し活動しています。そのために、以下の3つの事業を推進しています。そして、ここでの実践を日本全国、さらには世界に発信し続け、変革への志を持つ人々と共有し、個性と魅力にあふれた地域作りに貢献していきたいと考えています。

1. 美術館事業

美術館活動による地域の活性化



地中美術館（香川県直島）

写真：藤塚光政

2. 助成事業

アートによる地域振興助成および
瀬戸内海地域振興助成



2016・2017年度 文化と芸術による地域振興の助成
成果発表会（2018年実施/新潟県十日町市）

3. 自主・共催事業

文化・芸術を振興する国内外の交流事業
（芸術祭の共催、シンポジウムの開催等自主事業）



自主・共催助成 豊島唐櫃棚田プロジェクト（香川県豊島）

2 福武財団の助成事業について

助成事業では、「地域振興」という共通の目的の下、地域に向き合い、その土地固有の魅力を見出し、地域住民と地域に関わる人々と協働した活動を行う団体・個人を支援します。

活動においては、社会情勢の移り変わりやコミュニティの在り方の変化を捉え、その地域らしい未来を描くことで、様々な表現や手法が考えられます。これまでの通例にとらわれず、創造的で文化的な表現・活動を期待しています。

また、当財団の助成事業では、たとえ採択に至らない場合でも、実りのある機会を創出できるよう、選考過程も重要視しております。応募書類は活動内容を改めて客観視していただけるよう、記入項目が多い設計となっています。

採択後は、過去の助成者と当該年度助成者が集まり、成果報告や各助成先が持っている情報や知識を共有する、情報共有会にご参加いただけます。事業を通じて、知見やネットワークを共有し、相互に協力しあえる関係を形成することで、各地における活力のあふれる個性豊かな地域社会の実現に寄与できることを目指しています。

3 2024年度 瀬戸内海地域振興助成 募集要項

2024年度助成の申請を検討される皆様へ

本助成プログラムでは、活動の規模の大小に関わらず、いかに地域課題を捉え、その課題に対して有効で、実現可能な規模で計画が立てられているかどうかを評価しています。助成期間は単年度ですが、長期的な事業の中の1年として、活動を実行する一助になればと考えています。本助成プログラムでは、当財団の助成プログラム採択実績の有無に応じて、継続申請者と新規申請者に区分しています（募集概要をご覧ください）。新規申請者の中にある「新規申請者・チャレンジ助成」のコースは、試行的・挑戦的な取り組みをされている事業や、スタートアップ事業、大学等学術機関での研究から実装につなげる試みを対象とした、少額の助成金からチャレンジしていただくコースです。財団職員とのミーティングや選考委員の事業訪問を通じて学びの機会を得て、事業の目標が達成できるよう支援いたします。一方で「新規申請者・一般助成」では、これまでの活動実績を重視し、より事業を発展させていただくために支援をいたします。大学のゼミ単位、学校で取り組んでいる「総合的な学習」など地域社会と関わるプログラム単位でのご応募もしていただけます。団体の事業やご経験に応じて、適切なプログラムへご応募ください。

助成の趣旨

瀬戸内海地域の地域文化振興とそれによる関係人口の増加、移住・定住支援を目的とします。「住んでよし、訪れてよし」の地、瀬戸内海地域の農・海産物や食の開発、地域を味わうことのできる宿、歴史・民俗・風土を感じさせる行事や伝統の掘り起こし、自然環境や景観の保全などの活動に助成します。

募集概要

対 象 事 業 / 瀬戸内海地域の文化力向上に資する、伝統芸能・工芸の振興、地元産品を生かした地域産業おこし、古民家の改修・保存・活用などの活動に助成します。

※個人的な研究に対する助成は行っておりません。

応 募 資 格 / 非営利団体・個人ほか、当財団において適当と認めるもの

※応募において今後法人化予定の個人や、団体の設立年数等、事業の経験は問いません。

※大学のゼミ単位、学校での地域と関わる「総合的な学習の時間」などのプログラム単位でのご応募もしていただけます。

[助成回数の制限] 助成回数は通算5回まで。※2019年度より適用

応募資格の区分 / これまで当財団の助成プログラム受託の有無や希望助成金額によって以下のように区分が異なります。申請される団体・個人がどちらの区分に当てはまるか、ご確認の上、ご応募ください。

A. 新規申請者（A-1. 一般助成または、A-2. チャレンジ助成） /

今までに当財団の助成を受けたことのない団体・個人

B. 継続申請者 / 今までに当財団の助成を受けたことのある団体・個人

助成金額のめやす / 下記金額をめやすに、事業規模に応じて必要な助成希望金額で応募してください。

A-1・B 1件あたり、30万円～上限100万円まで

A-2 1件あたり、上限30万円まで

助 成 総 額 / 700 万円

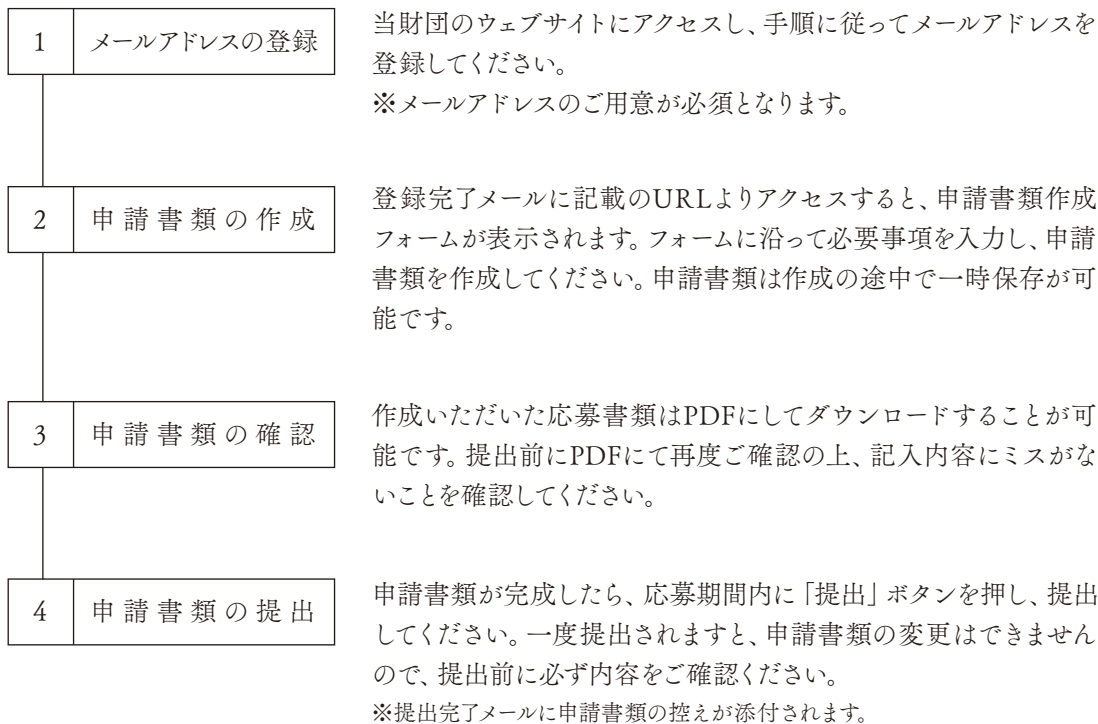
総 助 成 件 数 / 10 ～ 15 件の予定

助 成 期 間 / 単年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

応募方法

応募はウェブフォームを使って行います。電子メール、郵送、FAXでは受け付けておりませんのでご注意ください。応募方法について不明の点がありましたら、当財団までお問い合わせください。

応募手順／



受付期間／ 2023 年 9 月 1 日（金）～ 2024 年 9 月 30 日（土）23 時 59 分

注意事項／ ●電子メール、郵送、ご来所、FAXによる応募は受け付けておりません。

●不明点がありましたら当財団までご連絡ください。

●応募締切（2023年9月30日23時59分）の直前は、回線が混雑し送信できない可能性がありますので、時間に余裕を持ってご応募ください。締切直前の回線トラブル等の理由による特別受付はいたしかねます。

【個人情報の取り扱いについて】

申請書類に記載いただいた氏名、年代、所属機関名、部署・学部、役職、住所・連絡先、電子メールアドレス、事業協力者、プロジェクトメンバーの氏名、年代などに関しては「個人情報保護に関する法律」に則り、個人情報として厳正に管理し、下記の目的に限り利用します。

- 1) 応募に対する選考及び選考結果の通知
- 2) 助成決定後の諸手続きの連絡
- 3) ウェブサイト、広報パンフレットなどでの助成者決定の公表（氏名、所属機関、職名、活動などの概要、助成金額）
- 4) 当財団内管理業務（成果報告、会計報告提出に関連する連絡業務など）
- 5) 当財団主催事業の案内

選考プロセス

応募書類は選考委員会において厳正に選考し、当財団の理事会で承認を得て決定します。選考プロセスは以下の通りです。

	A 新規申請者（A-1:一般助成 / A-2:チャレンジ助成）	B 継続申請者
選 考 方 法	1次選考：書類選考 2次選考：選考委員との対面での選考 ※一般・チャレンジ助成ともに上記の方法で選考します。 ※日時、場所、対面での選考の詳細は1次選考通過者にお知らせします。 ※選考会場までの交通費（実費）は当財団が負担します。 ※2次選考を欠席した場合は助成を受けることができません。	書類選考のみ ※申請書類と、今までの当財団助成終了時に提出いただいた成果報告書、提出書類などをもとに選考を行います。
選考結果通知	メールにて通知 1次選考結果：2023年12月中旬 2次選考結果：2024年1月下旬	メールにて通知 2024年1月下旬

選考の観点

以下の観点をもとに選考いたします。①応募資格を満たしているか、②当財団の助成趣旨に合った事業であるか、③以下の選考観点で高く評価されるか（プログラムによって観点の項目と比重が異なり、◎はもっとも重視する点、○は必須ではないがアピールできていたらプラス評価される点）

A-1 新規申請者一般助成	A-2 新規申請者チャレンジ助成	B 継続申請者
◎瀬戸内の魅力の発見 活動によって、地域の固有の魅力や資産が掘り起こされ、磨かれていくか。 ◎継続性 単発のイベントではなく、継続的に地域に関わろうとしているか。そのためのビジョンや具体的な事業計画があるか。（今後2年分の計画が立てられているか） ◎実現性 事業計画実現のためのリサーチが十分行われ、実現性にリアリティがあるか。 ◎関係性 地域の中で活動が受け入れられ、協力関係を築いているか（広域・異業種間のネットワークも含む）。 ◎影響力 地域にどのような影響・効果・変化をもたらそうとしているか。 ○発展性 今までの活動が積み重なり、次の展開が見えてきているか。そのための事業計画や組織が構築されているか。	◎瀬戸内の魅力の発見 活動によって、地域の固有の魅力や資産が掘り起こされ、磨かれていくか。 ◎実現性 事業計画が書けていて、実現性にリアリティがあるか。 ○チャレンジ性 地域をよりよくしていくため前向きな意欲を持ち、新しいことへの挑戦に対する気概が事業計画に現れているか。 ○関係性 地域の中で活動が受け入れられ、協力関係を築いているか（広域・異業種間のネットワークも含む）。 ○影響力 地域にどのような影響・効果・変化をもたらそうとしているか。 ◎発展性 今までの活動が積み重なり、次の展開が見えてきているか。そのための事業計画や組織が構築されているか。	◎瀬戸内の魅力の発見 活動によって、地域の固有の魅力や資産が掘り起こされ、磨かれていくか。 ◎継続性 単発のイベントではなく、継続的に地域に関わろうとしているか。そのためのビジョンや具体的な事業計画があるか。（今後5年分の計画が立てられているか） ◎実現性 事業計画実現のためのリサーチが十分行われ、実現性にリアリティがあるか。 ◎関係性 地域の中で活動が受け入れられ、協力関係を築いているか（広域・異業種間のネットワークも含む）。 ◎影響力 地域にどのような影響・効果・変化をもたらそうとしているか。 ◎発展性 今までの活動が積み重なり、次の展開が見えてきているか。そのための事業計画や組織が構築されているか。

※採否の理由についての照会には回答いたしかねますので、ご了承ください。

助成決定（内定）後のこと

- 助成金の交付 採択内定となった個人・団体には助成金交付に必要な書類をお送りいたしますので、期日までに提出ください。3月の当財団理事会承認後、正式な採否をメールで通知し、2024年3月末日までに助成金を指定口座に振り込みます。
- 助成決定者の義務 ■活動成果の報告
- 助成期間終了後、成果報告書と会計報告書を提出してください。報告書類の提出方法は助成開始後、改めてご案内いたします。
- 中間報告会・成果報告会への参加
- 当財団が主催する、該当年度に助成を受けた個人・団体が集い、相互交流と活動ノウハウの交換を目的とした中間報告会（2024年度開催予定・任意参加）、成果報告会（2025年度開催予定・必須参加）へ参加してください。
- 当財団の助成による事業の広報（チラシ、パンフレット、WEBなど）や活動記録には必ず当財団の助成を受けていることを明記してください。

全体のスケジュール

2023年	○ 7月下旬	募集要項の公表
	○ 7月下旬～9月30日	募集に関するお問い合わせ期間
	○ 9月1日～9月30日	申請受付期間 ※9月30日締切
	○ 11月中旬	1次選考（書類選考）
	○ 12月中旬	1次選考結果通知 ※新規申請者のみ
2024年	○ 1月上旬	2次選考（選考委員との対面での選考） ※新規申請者のみ
	○ 1月下旬	2次選考結果通知（助成者内定通知）、諸手続き
	○ 3月上旬	当財団理事会にて助成者の承認
	○ 3月下旬	助成金のお支払い
	○ 4月1日～2025年3月31日	2024年度活動実施期間
	○ 夏～秋頃	2023年度成果報告会 ※任意参加
2025年	○ 5月中旬	成果報告書・会計報告書提出
	○ 夏～秋頃	2024年度成果報告会 ※必須参加

応募方法、よくある質問

応募方法やよくある質問については、ウェブサイトに掲載しております。
ウェブサイトをご確認いただき、ご応募いただけますようお願いいたします。



詳しくは

<https://fukutake-foundation.jp/subsidy/>

福武財団 助成



検索

公益財団法人 福武財団

「Benesse（＝よく生きる）」

文化・芸術によって、活力溢れた、個性豊かな地域社会の発展に貢献します。
福武財団は、日本の近代化の流れの中で行われてきた破壊と創造の繰り返しを見直し、「在るものを活かし、無いものを創る」を信条に、人々がよりよく生きる地域をつくること、お年寄りの笑顔が素晴らしい地域をつくることを目指し活動しています。

助成プログラムに関するお問い合わせ・相談先

公益財団法人 福武財団 助成担当

〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel: 087-892-2550

E-mail: mail@fukutake-grant.jp

※お問合せの際は件名に「助成問い合わせ」とお書きください。